



名称	相良城跡
よみがな	さがらじょうあと
指定	市指定
種別	史跡
種類	遺跡
所在地	大和町下徳良
所有者	個人
指定年月日	昭和 48 (1973) 年 10 月 9 日
時代	室町時代
公開状況	公開
交通案内	大和支所から徒歩約 5 分

【解 説】

徳良川流域の水田地帯を望む独立した丘陵につくられた平山城で、北側の眼下には徳良の市街地が広がります。城から東 1.2 kmにある宮迫山城の出城として、中世の徳良市を管理するために設けられたと考えられています。城は単郭で東西約 50m、南北約 30mの山頂部を削平してつくられています。郭の周囲には幅 1.0～5.0m、高さは 0.2～1.5mの土塁がめぐらされています。このあたりを治めた相良右衛門大夫が居城したと伝わります。